

バス停タイムス

2016年3月10日

No.36

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

2016 JR春闘を勝利しよう！！

官製春闘打破！格差ベア反対！ 賃上げ6,000円を勝ちとろう！

大井基地で働くみなさん、おはようございます。

私たちの生活に大きくかかわる闘い、『2016年春闘』もいよいよ大詰めをむかえています。私たちJR東海労は『賃上げ（ベースアップ）一律6,000円、基準昇給額一律1,500円×4』を柱に、団体交渉で会社に強くせまっています。

安倍政権は「同一労働同一賃金」といった聞こえの良いアドバルーンをあげていますが、ここまで格差を拡大させておきながら、一体どこを「同一」の基準にするつもりなのでしょう？よもや低い水準に合わせることはないでしょうね！

私たちは、今春闘では賃上げと同時に、賃上げの格差配分にも反対しています。昨年の春闘では賃上げ2,000円をかち取りましたが配分では、全社員一律に2,000円ではなく1,500円から3,100円という「倍」以上の格差がつき、「上には手厚く下には薄い」ものとなりました。（右表参照）このような格差賃上げを許さず、一律賃上げを強く求めて闘います。

【 昨年の賃上げの各等級に対する配分 】

等級	基本給加算額
J1等級（車両係など）	1,500円
J2等級（車両係など）	1,600円
J3等級（車両係など）	1,700円
S1等級（車両技術係など）	1,900円
S2等級（車両技術係など）	2,000円
S3等級（車両技術係など）	2,100円
C1等級（車両技術主任など）	2,300円
C2等級（車両技術主任など）	2,400円
L1等級（管理者）	2,800円
L2等級（管理者）	3,000円
L3等級（管理者）	3,100円

汗水ながしている現場”労働者”の努力に実をもって応えろ！！

賃上げの団体交渉はすでに4回に及んでいます。しかし会社は「現時点経済の先行きが不透明であるため、堅調な経営状況であっても楽観はできず、経営体力を強化する」とし賃上げを否定し続けています。

私たちJR東海労は、「経営状況は順調に推移していることから、会社に要求を実現させる体力は充分あり、過去最高益を更新している今こそ組合員の労苦に報い、要求に応えるべきである！」と会社に強く迫り、要求獲得めざして闘います。

関連会社のみなさんの労働組合は賃上げ要求や賃上げ配分についてどのような要求を掲げていますか？要求はあきらかになっていませんか？労働組合役員だけでなく組合員全員で立ちあがりましょう。



安全と労働者を犠牲にする効率化に反対！！

J R東海の職場では、あらゆる職種を効率化の波が襲っています。

皆さんご存知のように、車両所では昨年7月からの仕業検査体制見直しで一班あたり4名から3名体制になり、要員が10名削減されました。交番検査では今年ダイヤ改正から、3班から1班体制で一日3本施工とし、要員が37名削減されようとしています。当然、仕事はますますきつくなります。

また、運輸所では車掌による車内改札の見直しが始まりますが、この先には車掌乗り組み基準の見直しが予想され、その際は100名規模の要員が削減されかねません。さらに東京駅の遺失物取扱所では3月1日から、遺失物入力体制の見直しがあり、要員不足による労働強化が強いられています。

私たちはこのような、安全と労働者の犠牲で成り立つ効率化に反対です。

リニア中央新幹線建設を口実とした 賃金抑制、労働条件切下げに反対しよう！！

品川駅前ではリニア中央新幹線の駅建設工事が始まりました。そのために皆さんが今乗っている通勤バスも、バス停が遠くなり、バスダイヤも改悪され非常に不便なものになっています。

検修体制の見直しはJ Rのみならず、関連会社の皆さんにも大きく影響します。現に交番検査の見直しでは、SEKでも30名規模の要員削減がいられています。また、SMTにおいても、今年のダイヤ改正から30分の早出勤によって拘束時間が増えたにもかかわらず収入につながらないという労働強化が強いられています。

これら労働条件悪化の原因はすべて『リニア』だと、誰もが知っています。J R東海山田会長はかつて社長としてのコメントで「リニアはペイしない」と言っています。新幹線でいくら稼いでも、ほとんど『リニア』に流れてしまうのです。

私たちは、リニア中央新幹線建設を口実とした賃金抑制、労働条件切下げ、福利厚生切り捨て、安全設備投資抑制、安全を無視した効率化推進など、なりふり構わぬ経費削減、労働者と乗客へのしわ寄せに反対です。

安全と健康を守り、快適で働きやすい職場をつくらう！

そのために、みんなで声を出しましょう！！



みなさんのご意見ご感想を、お気軽にお寄せください！

連絡先(新幹線地本) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5 Tel.03-3201-0350

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>

メールアドレス jrcushinkansen@yahoo.co.jp